

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 今町 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないように、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

運動することが好きか、という質問には概ね肯定的な回答であった。また、「運動は大切か」、「体育の学習は楽しいか」、「体育の学習に進んで参加しているか」の質問では肯定的な回答が100%であり、地域のスポーツクラブなどに入っている児童は全国や市の平均に比べ少ないにもかかわらず、体育の授業以外の1週間の運動時間の平均は全国や市の平均に比べ多い。児童は自ら進んで運動を生活に取り入れているといえる。しかし生活習慣においてはスクリーンタイムの長さ、睡眠時間の短さ、朝食の欠食などが課題として上がった。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育授業においては昨年度の出来栄や記録などを引き継いだ個人カードを用意し、自分の成長や頑張りを目に見える形で見えるようにした。各学年のカリキュラムをできるだけそろえ、委員会の取組と関連付けた。職員室前の掲示板を活用し、高学年の振り返りを掲示したり、今取り組んでいる単元に関連した掲示物を掲示したりした。スポーツニュースなどの掲示物を掲示し、運動に興味関心をもてるようにした。これらの取組を年間を通して、体育専科を中心に行っていき、児童が運動に関心をもてるように取り組んでいく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

休み時間を活用して体力測定の実施、持久走の実施、縄跳びの実施などを行い、児童が運動に親しんだり、自分の体力に関心を持てるような取組を行ったりした。また、養護教諭、栄養教諭と連携し、朝食の大切さ、睡眠の大切さなどの啓発動画を作成し、全学級に放送した。学校で朝食を食べる機会を提供する朝食支援を業者と連携して行った。生活がんばり表を全児童分作成し、保護者、児童が児童の生活習慣を把握、改善できるようにした。これらの取組を継続して行い、朝食の欠食率の減少、スクリーンタイムの減少と睡眠時間の確保につなげていく。

